

校舎23棟 コンクリ強度不足

市教委 「耐震性に問題の可能性」

横浜市在市立小中学校18

校の校舎計23棟で、コンクリート強度が不足していたことが明らかになった。15日の市議会本会議で山田巧教育長が明らかにした。

市教委教育施設課によると、23棟は市の耐震診断指針を検証する外部委員会が「コンクリート強度の確認が必要」と市に点検を指示した76棟の一部。市教委が昨年10月から調査を進め、55棟まで終えた1月末時点で、23棟がコンクリートで作られた構造物の強さを示す設計基準を下回っ

た。

市教委は23棟について、「すぐに倒壊する危険性があるわけではないが、耐震性に問題がある可能性がある」として、来年度以降、耐震診断を行う。

残る21棟も今年度中に調査を行う。

また、15日開かれた横浜市議会本会議には、計1兆4097億円の一般会計予算案など計85議案が提案された。会期は3月23日まで。